

# おさだ進治・プロフィール

## 生まれ



昭和40年、海老名市本郷の農家に生まれる。有馬小中学校・県立座間高校・拓殖大学政経学部卒。家族は妻と息子2人。

## 志を立てた植林活動・遺骨収集



不毛の地・タイ国にて植林事業に従事する若い日々。



子供たちの笑顔を守りたい。



太平洋戦争で亡くなった兵士の遺骨を収集する。サイパン・パラオ・硫黄島（旧厚生省派遣団として）

## 政治の世界へ



会社員、議員秘書を経て、29歳で市議会議員初当選

青雲の志を抱き  
県政にチャレンジするも



県議選落選

政治を志したのは  
自然をいつくしみ  
平和を望む思いから。

## 私の今を支える経験



福祉職につき、現場で働き考える



落選中は弁当屋でアルバイトも

## 涙の初当選!



## 政治活動の日々 予算委員長も歴任 充実の53才!



ときには議会で  
知事と激しい論戦も



丹沢に登り、自然の  
保全を訴える



大震災の被災地で  
ボランティアに  
汗を流す

## 趣味



男の手料理



みこし

## 著作



海老名の歴史小説  
「神尾騒動」  
海老名の昔話・絵本  
「ロアンとへら鹿のアル」

## おさだ進治事務所

〒243-0419 海老名市大谷北 1-5-27  
Tel. 046-236-0505 Fax. 046-236-0508

公式サイト <http://osadashinji.com>  
ブログ <http://osadashinji.sblo.jp>  
メール [osada@osadashinji.com](mailto:osada@osadashinji.com)

<https://www.facebook.com/shinji.osada.3>  
@osadashinji\_tw  
shinjiosada

おさだ進治



Facebook

# ACTIVE

県政報告紙「アクティブ」37号 2019年3月2日

神奈川県議会議員 **おさだ進治** 発行  
おさだ進治事務所  
海老名市大谷北 1-5-27  
Tel: 046-236-0505 Fax: 046-236-0508

## 経験 + 実績 = 安心 おさだ進治 これまでの 成果と課題

### 1 開設しました! さがみ野駅前交番

平成31年2月15日から新たな交番の運用が開始されました。県下40ヶ所以上から交番新設の要望があり、困難を極めた誘致活動。しかし地元住民の皆さんによる署名活動が実り、新たな交番が開設されました。



### 2 スポーツやレクリエーションを楽しめるエリアを 相模川河川敷を有効利用

あゆみ橋周辺の相模川河川敷では水害対策のための改修事業が行われ、広大な土地が生まれました。ここで市民の皆さんがスポーツやレクリエーションを楽しんで頂けるよう、神奈川県のご協力を得ることができました。海老名市からもこの土地の活用については県に求めて来た経緯もありますので、今後市民の皆様にご利用いただける環境整備が行われるものと思います。



### 3 ついに運動公園に接続、着々と工事が進んでいます 夢をつなぐグリーンライン遊歩道

座間の座架依橋から平塚の湘南海岸まで全長約21kmの長大な遊歩道・自転車道「さがみグリーンライン」は海老名市の中野地区を起点に整備が始まり、今年はいよいよ海老名運動公園まで延伸しました。相模川に広がる自然とその背景にある丹沢・富士を眺めることができる遊歩道は自動車の危険もなく、毎日多くの方が散歩に訪れています。あなたもぜひ歩いてみませんか?



### 4 社家と厚木の岡田がつながります 相模大堰人道橋 (仮称)

海老名市社家と厚木市岡田を結ぶ、歩行者・自転車専用の橋をかけることになりました。相模川から飲み水を取る相模大堰という施設の管理橋を活用するもので、来年の春には開通させてまいります。海老名と厚木がつながると共に、さがみグリーンラインと接続していることから全国にも例の無い、長く自然豊かな遊歩道ができてまいります。



### 5 開校から4年目を迎えました 県立えびな支援学校

障害のある子供たちが通学の負担なく身近な学校で学べるようにしたい! その思いで誘致に全力をあげた県立えびな支援学校も開校から4年目を迎え、この春2度目の卒業式が行われました。設備もケアも充実した学校で子供たちが過ごしてくれる様子を見るたびに、このまちの県議会議員としてのやりがいを感じています。



## 6 格安価格で全国各地へ 海老名発！夜行バスの運行

海老名から全国を結ぶ夜行バスを走らせたい！というバス会社からの相談を受け、海老名市と協力し2015年に運行が始まった夜行バス。イオン海老名店のパーキング内に「バスル」という名前のバスターミナルができ、格安な旅をお楽しみ頂けるようになりました。大阪（梅田）までの所要時間は6時間50分程度。京都、大阪、名古屋、鳥取、仙台、山形、新潟など、海老名が全国の都市につながっており、とてもメリットのある事業ですので、さらに路線の充実にも努めて参ります。



## 7 医療の発達によって生まれた新しい課題 医療的ケアを必要とする子供たちのために

新生児集中治療室（NICU）の充実により危険な新生児の命が救えるケースが増えてきました。そうした子供たちの中には痰の吸引や直接栄養を胃に送る経管栄養など、常時医療的ケアを必要とする子供たちもいます。こうした子供たちや家族の負担軽減を県議会で訴えた結果、特別支援学校に看護師を配置し、通学時の医療的ケアをサポートするなどの支援を実現しました。



## 8 もっともっと！都市農業の充実を 臭いの出ない豚舎の提案

都市に近い神奈川の農業。畜産施設から出る臭気が近隣住民との間で問題になるケースもあります。そうした中、県立畜産技術センター（海老名市本郷）ではドイツから輸入した最新の脱臭技術により、臭いの出ない豚舎をモデル的に建設し、県内畜産農家に提案する事業を始めました。平成30年、県議会では環境農政常任委員を務め、神奈川の都市農業の発展をテーマに活動しています。



## 9 海老名にある県立産業技術総合研究所が進めている研究です 貼るだけインシュリン注射と大量毛髪再生技術の開発

下今泉にある神奈川県立産業技術総合研究所では多岐にわたる技術開発に取り組んでいます。糖尿病の方の負担を軽減するための「貼るだけで自動的にインシュリンが注射される」小さなパッチや、ヒトの髪の毛の毛根にある幹細胞を培養し元の皮下にもどしてあげることで自然に髪がはえるようになるという技術で、薄毛だけでなく様々な病気を治すための「細胞再生医療」につながる大切な研究の一端です。



## 10 座って新宿へ！ 相鉄線が都心へ直通

神奈川県も多額の費用を負担して進められて来た相鉄線の都心直通事業。今年秋には武蔵小杉や大崎などを經由して、渋谷・新宿に直結することになります。始発の海老名駅から座ったまま新宿へ！通勤通学が楽になりますね。



## 11 買い物不便を解消 さつき町とイオンのご縁を結ぶ

高齢化の進む市内さつき町の団地。住民の皆さんからもっとも多く寄せられるご意見が「買い物が大変」というものでした。そこで私は、イオン海老名店とこの地域の皆さんとのご縁を結ぶ役目をさせて頂きました。その結果、団地内に小規模ながらも日用品を販売する小売店が出店。「お店ができたので、ちょくちょく外へ出るようになってお友達も増えたわ」「米とか重い物を買うときは大変だったけど、今は楽になったよ」高齢な方たちからそんなご感想を頂いております。



## 海老名市における県政、これからの課題と夢！

### 課題1 本格整備に向け、一歩ずつ進めます 渋滞解消へ向け、上郷立体整備

都市計画道路下今泉・門沢橋線は、JR相模線の踏切前後で発生する慢性的な渋滞解消のため、道路の立体化事業を進めています。立体化には地権者や地域の皆様のご協力を頂くことが必要であり、現在県としては誠意をもって交渉を進めております。皆様から気持ち良くご協力頂き、一日も早く渋滞を解消するため引き続き努力します。



### 課題2 自然あふれる川に 永池川河川改修事業

豪雨時には氾濫によって周辺の水田などに被害をもたらす永池川。東名高速道路から上流部分について自然を生かした川にする整備が行われています。長い時間がかかりましたがようやく下流3分の1の用地買収を終え、昨年より整備が始まりました。更に上流部の整備に向けて、地権者の方たちのご協力を頂くこと、事業推進のための予算を獲得することが私の課題です。



## 海老名を さがみロボット産業特区 ロボットタウンに！



介護を手伝ってくれたり、道案内をしてくれたり、あるいはドローンが宅配便を届けてくれたり…ロボットが様々な場面で人の生活を助けてくれる時代がやって来ます。これは高齢化の進む社会にとっても、日本経済にとっても大切な事です。

神奈川県はさがみロボット産業特区の指定を受け、ロボット産業の育成に乗り出しました。そしてその特区の中心となる「ロボット推進センター」が海老名市下今泉にある県立産業技術総合研究所内に設置されています。

私は海老名の街を「いつ行っても最先端のロボットに触れ合える」そんなロボットタウンにしたいという夢を持っています。海老名の発展のためにも是非実現したいと思います。

### 自然と先端技術が融合するまち海老名へ

相模川に面した海老名には市の運動公園、中野公園があり、県の三川公園など相模川に沿って自然環境を活かしたまちづくりが進んでいます。そして実績の2,3,4でご紹介した取り組みを重ねることによって海老名は県内のどこにもないような自然のある生活環境に恵まれたまちにすることができると考えています。そしてこのまちにはロボット産業や先端医療を研究する県の施設があります。自然とロボットが調和し、人々の生活に先端技術が融合するまち海老名！それが県政に取り組む私の目標です。

